

<入浴動作の考え方>

入浴動作は水回りでもあり、自宅の中でも最も危険性が高い場所なので、障害を有した場合、「家族の介助もたいへんだから…」となり、自宅に入浴する機会が少なくなります。

しかし、

誰もがゆっくりとリラックスする場所なので、障害を有しても、「自宅の浴室でゆっくり温まりたい」と思うのは当然のことだと思います。

そこで、「しん」では以下のように浴室を工夫し、自ら入浴できること、また、ご家族が他の方に気兼ねせず、介助の仕方を身につけられるようにしています。

<浴室の工夫>

これは「しん」の魅力の一つです。通常の施設にあるような大きな浴室ではなく、「家庭」にある程度の大きさです。

縦手すりの意味

浴室入口の縦手すりは「体の移動を安定させる」ためであり、浴槽縁の縦手すりは「浴槽に入るために浴槽縁をまたぎ易くする」ためです。

横手すりの意味

浴室入口の縦手すりから続く横手すりは「体を安定して移動させる」ため、浴槽横の横手すりは、「体を崩さないで湯船につかる」ためです。

